

福井みな子の市政報告

芦屋市議会議員

福井みな子



12月定例会では、市長提出議案15件、請願1件の審査が行われ、採決の結果、請願以外すべての議案は可決されました。なお、条例制定の直接請求の動きに伴い、年明けの1月には臨時会が開催される予定です。



『女性が輝くまち 芦屋』プロジェクトがスタート！

～女性活躍促進に向け子育てと仕事の両立や再就労・起業をサポート～

近年、様々な場面において「女性が輝く社会」というフレーズを耳にするようになりました。「女性が輝く社会」とは女性が輝くだけでなく、男性も輝ける社会でもあり、ひいては一人一人が輝ける社会であると思います。現在、国では「女性が輝く社会」をつくることを最重要課題とし、すべての女性が、その生き方に自信と誇りを持ち、活躍できる社会づくりが進められているところです。

今後、団塊世代の大量退職や少子高齢化により、生産労働人口の減少に伴う人材不足等の問題が予測されます。そのような中、必要な労働供給をまかなうためにも、女性の積極的な登用などを拡大することが重要になります。

芦屋市では、もう一度社会で働きたい、また働き方を変えたいと思っている女性の皆様が、あらたな働き方を知り、同じ思いの人たちとつながりながら思いを実践していくためのASHIYA RESUME(芦屋リジューム)プロジェクトが始まりました。コンセプトは、「芦屋への愛着をもち自らの経験を芦屋に還元する次世代の女性コミュニティ」と「それを支援する地域ネットワーク」の醸成です。このプロジェクトは、平成29年度から31年度までの3年間、地方創生推進交付金事業として実施されています。

今回の一般質問では、今後、旧宮塚町市営住宅跡地を事業の拠点としていくのかを伺いましたが、現在検討中との答弁でした。

女性の多様な働き方を提案し、個々の状況に合わせた支援体制を整え、子育てと仕事の両立や再就労・起業のサポート

が行われているか、今後もこの事業を注視してまいります。なお、女性の新しい働き方、生き方に役立つ情報をお伝えするために、ASHIYA RESUME(芦屋リジューム)プロジェクトのホームページにて無料会員登録を受け付けております。



RESUME: 英語では(中断した後に)再び始める、再び続ける、仏語ではレジューム、履歴書、経歴の意味があります。

芦屋市下水道事業会計に企業会計を適用

～経営状況の明確化が可能に～

これまで事業会計は特別会計により処理してきましたが、公営企業会計に義務づける法制化の流れの中で特別会計が廃止になり、企業会計が導入されます。これに伴い経理方法が変わり、これまでは現金主義・単式簿記であったものが、今後は発生主義・複式簿記となります。これは、民間企業に準じた企業会計原則の考えによります。貸借対照表、損益計算書やキャッシュフロー計算書を通して経営状況の正確な把握が可能となるので、財政の健全化が期待できます。国庫補助金や一般会計からの繰り入れは今まで通り行われるため、基本的にはサービス内容に変更はありません。

南芦屋浜で学童保育を開始

～こども園の開園は、H30年4月～



平成30年4月、涼風町の潮芦屋ビーチに面する場所で「しおさいこども園」が開園予定です。それに先立ち、園内にて放課後児童クラブ(学童保育)が始まります。

総務常任委員会では、運営される法人に対しての国、県、市からの補助額が示され、費用が計上されました。芦屋市での民間の学童保育は、初めての試みとなりますが、地域に根ざした事業として今後の拡充に期待します。

芦屋市火葬場の指定管理者を決定

指定管理者選定委員会による選定の結果、芦屋市火葬場(三条町)芦屋聖苑の指定管理者は前回同様、太陽築炉工業株式会社が指定されました。指定期間は平成30年4月から5年間です。



福井みな子の一般質問

今回は、以下の3つの項目を取り上げました。

女性が輝く社会の実現に向けて

質問①女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画として、市の職員の課長級以上に占める女性の割合を平成31年度までに30%以上とする数値目標を掲げているが進捗状況を問う。



特定事業主行動計画とは女性活躍推進法に基づき、各特定事業主に策定・公表等が義務付けられた、女性職員の活躍のための行動計画。数値目標、取組内容とその実施時期等が定められている。

(回答) 本年4月現在、課長級以上の女性職員の割合は28.6%であり、平成31年度には30%を達成できる見込みである。



質問②男性職員対象の支援策はどのように展開されているのか。

(回答) 男性職員の育児休業は、「芦屋市職員ハンドブック」の「仕事と子育て両立支援」の項目記載による啓発を行い、今年度は4人、23.5%が取得し増加傾向にある。

質問③長時間労働は深刻な問題であるが、ワークライフバランスの向上を図るための職員に対しての啓発について問う。



(回答) 庁内のポータルサイトにより日常的な啓発に努めプロジェクトチームによる業務効率化の検討を進めている。



福井みな子より一言

全国的に男性が仕事と子育てを両立できる環境とは未だ言えません。管理職の多くは仕事一筋で生きてきた世代で、部下の育児参加に消極的な場合が多いのです。子育て世代の女性が生き生きと活躍できる社会をつくるには、男性職員自身や上司の意識改革が重要です。ワークライフバランスの推進を積極的に行う職員には人事評価で高評価が得られるようにするなどの工夫が、安心して働ける職場の環境づくりに必要ではないでしょうか。

英語教育の充実を目指して

質問①県の新規事業である「地域人材を活用した小学校英語教育支援」を、芦屋市として活用すべきではないか。



(回答) 県の事業の活用も含め、より充実した支援体制を組んで参りたい。

質問②芦屋市の教育振興基本計画の中の「グローバル化に対応した教育の推進」の取り組みの1つとして「英語検定等の資格取得を奨励する」とあるが、今後の取組を問う。



(回答) 英語検定に関する周知や関係図書の実等取組を継続するとともに、学校との調整を図る。



福井みな子より一言

現在、学校で学ぶ児童生徒が社会で活躍する頃、日本は多文化・多言語・多民族の人たちが協調し競争する国際的な環境となり、様々な社会的・職業的な場面で外国語を用いたコミュニケーションを行う機会が増えると予想されます。平成32年度には大学入試センター試験に代わる新テストの導入が予定されTOEFLや英語検定などの成績が大学の合否結果に活用されます。英語教科の学力の底上げのために、英語検定等の外部指標の活用も必要ではないでしょうか。

市営自転車駐輪場について



質問①JR芦屋駅南地区のまちづくり事業における駐輪場整備については、多くの自転車の収容が可能であること、景観面にも配慮ができることから、地下埋設型の立体式駐輪施設の導入が適しているのではないかと問う。

(回答) JR芦屋駅南地区の駐輪場整備については、利便性・安全性に配慮し地下空間の有効活用を念頭に施設の整備計画を策定していく。

質問②国道43号線打出交差点南側の歩道橋下には、常に放置されている多くの自転車を目にする。阪神打出駅周辺の駐輪場整備等の検討は重点施策となっているが、歩道橋下の空間を利用した駐輪場の整備について見解を問う。

(回答) 利用者が増加している阪神打出駅前自転車駐輪場は、長期修繕計画に基づき、平成30年度に自転車ラックの増設を行うとともに歩道橋下の空間利用も含め対策を検討していく。

福井みな子より一言

JR芦屋駅南地区に期待する地下埋設型立体式駐輪施設には、左記の他に人件費の削減が可能、24時間利用が可能などの利点があります。市民のニーズや費用対効果、維持管理についても調査を行い、導入を要望します。

また、阪神打出駅周辺については、違法駐輪の現状から、利便性の高い国道43号線の南側にも駐輪場が必要であると考えます。歩道橋下の空間を利用した駐輪施設の整備を要望しますが、民間の土地を利用した駐輪場整備も視野に入れて考えるべきでしょう。

編集後記

12月も慌ただしく過ぎ去り、新年を迎えました。議会では予期せぬこともあり、議会運営委員長として多くのことを学ばせて頂きました。

今年は縁起の良い成年。成年は十二支では11番目に位置しているせいか、1つのサイクルが終わり、新たに次の時代が近づいていることを示唆しているようにも感じられます。皆様にとって素敵な1年になりますように。

あしや真政会 福井 みな子(自民党)



福井みな子プロフィール

1962年生まれ。茨城キリスト教短大卒。東京海上火災保険(株)本店、日本航空(株)、外資系航空会社、(株)JALエクスプレス勤務。専門学校講師を経て、平成23年芦屋市議会議員初当選。平成25年度建設公営企業常任委員長、平成27年度総務常任委員長、平成28年度阪神水道企業団議会議員、平成28年度決算特別委員長、平成29年度議会運営委員長

あしや真政会所属 福井みな子

市政報告 No. 27 平成30年1月発行

〈事務所〉芦屋市打出町1-13 (打出商店街南入口角) TEL & FAX : 34-0240
http://www.fukui-minako.com E-MAIL : fukui.minako@gmail.com